

人のぬくもりとふれあいが奏でる躍動のまち

丹波高原文化の郷 ● 京丹波

第3部

# 基本計画



# 第1章

## まちづくりの基本方針

## まちづくりの基本方針

基本構想に掲げた京丹波町の将来目標像「人のぬくもりとふれあいが奏でる躍動のまち 丹波高原文化の郷●京丹波」の実現に向けて、次の六つの基本方針のもとで総合的かつ体系的な施策の展開を図ります。



### 基本方針 1 ～ 人材 ～

#### 未来をひらく人を育てます

「まちづくりは人づくり」の考えのもと、「丹波高原文化の郷」の未来をひらく人を育てていきます。次代を担う子どもたちが、健やかでたくましい心と体をはぐくむことができるように、また、生涯を通じた学びの基礎を身につけることができるように、知育・徳育・体育・食育の調和がとれた質の高い教育を推進します。特に、地域の多彩な人材や歴史・文化、自然など豊富な地域資源を生かした体験学習の充実を図ることで、生まれ育った京丹波の地に愛着を感じ、誇りを持つ子どもを育て、ひいては、将来のまちづくりを担う人材が育つことを期待します。

また、人権尊重の取組みをはじめ、生涯学習やスポーツ・レクリエーション活動等の振興を図ることで、町民だれもが生涯にわたって生きがいを感じながらともに暮らすことができる地域づくりを進め、対話とふれあいの中で、すべての町民が主役となる特色ある地域文化の醸成を図ります。

### 基本方針 2 ～ やすらぎ ～

#### 人と人、みんなが支えあう、 安心・安全なまちをつくります

すべての町民による「ふれあい」と「支えあい」を基礎とした、安全でやすらぎのある暮らしができるまちづくりを進めます。

町民の生命と安心の確保を担い、疾病予防対策と健康増進を図る「保健・医療」、さまざまな生活課題に対応する福祉サービスの利用保障に向けた「福祉」、町民の生命や財産を守るための「防災、交通安全等」のそれぞれの分野において、町民の安心・安全を確保するための施策を推進します。特に、子どもは「地域の宝」、さらには「本町の宝」として、町民挙げて子どもを見守り、子育てを支えていきます。

## 基本方針 3 ～ 魅力 ～

### 魅力ある産業をはぐくみます

京丹波町の特性や地域資源を最大限に生かした魅力ある産業をはぐくみます。

地域の産業を自然・歴史・文化資源のネットワーク化と連携させていくことは、「丹波高原文化の郷」づくりの重要な基盤のひとつと考えます。そのため、ブランドの確立等による農林水産業の育成・振興と地域生活に根ざした商工業の活性化、都市との交流の活発化などを図ることで、本町の自然やわたしたちの暮らしになじみ、かつ、全国・世界へとアピールできる新しい地域産業の形成をめざします。

## 基本方針 4 ～ 潤い ～

### 豊かで美しい環境を守ります

丹波高原に広がる豊かで美しい自然・生活環境を良好な状態で保全し、自然を愛し自然と共に生きる緑豊かな農山村として魅力を高めながら次代へ引き継いでいきます。施策の推進にあたっては、身近な自然・生活環境の問題が地球環境の問題にまで結びついていることを意識して取り組む必要があります。その上で「丹波高原文化の郷」にふさわしいまちとなるような景観づくり、省資源・再利用・再資源化による資源循環型社会の構築、ごみの不法投棄防止・環境美化など多様な取組みを展開していきます。

## 基本方針 5 ～ にぎわい ～

### 人が暮らす、集う、 定住・交流の基盤をつくります

働く場の確保や社会基盤等の整備を推進し、人びとが暮らし、集うための安定した定住・交流の基盤を築きます。そのため、定住基盤となる企業誘致や住宅整備、旧来からの懸案であった水資源の確保と上水道の安定供給、下水処理施設の整備、京都縦貫自動車道の整備とあわせた新たな道路・交通体系の確立、情報施設の一元化等を推進し、定住人口とともに交流人口の増加をめざします。

## 基本方針 6 ～ 地域力 ～

### まちづくりのしくみをつくり、強めます

町民、団体、民間事業者や行政等による協働のまちづくりを効果的に推進するための仕組みをつくり、自立した力強い行政運営とその充実・推進により「丹波高原文化の郷」の魅力を高めていきます。そのため、開かれた、わかりやすい行政など、町民が一体感や連帯感をはぐくみ、誇りと愛着を持ってまちづくりに参画できる環境をつくるとともに、行政運営の効果・効率性を高めていきます。

コミュニティ（地域社会）は、町民のさまざまな活動を支える基礎として重要なものであるため、地域自治、防災、環境美化などの地域活動が活発に行われるように促進を図ります。

※**地域力**：地域社会の問題について住民をはじめとした地域の構成員が、自らその問題の所在を認識し、自律的かつ、その他の主体との協働を図りながら、地域問題の解決や地域としての価値を創造していくための力のこと。

※**コミュニティ**：地域社会において住民相互の親ばく、連帯、協力など共同生活を営んでいくうえで大切な「つながり」全般を指す。

# 計画の構成

## 計画策定の趣旨

- 3町合併後の新たなまちづくり
- 時代的变化への対応
  - 社会経済の成熟化
  - 分権時代の到来
  - 日本文化のルーツ・ふるさと探し
  - 少子高齢化と人口減少時代の到来
  - その他の時代潮流の進展
  - 地域における広域交通環境の変化

## 京丹波町の特性

- 立地的特性
  - 由良川上流域の分水嶺地域
  - 大都市近郊の自然環境豊かな農業地域
- 自然的特性
  - 高原地帯
  - 日本海側気候・内陸性気候
- 歴史的背景
  - 独自の文化を醸成
  - 交通の要衝・結節点として発展
  - 特色ある農林産物の供給地
  - 地域に根づく伝統文化
  - 工業の進出、住宅団地の開発
  - 都市との交流活動による地域活性化
- 町の沿革・3町合併の経緯
- 町の概況
  - 人口動向
  - 人口の流入出の動向
  - 就業構造
  - 観光入込客数
  - 観光・交流の取組み
- まちづくりに対する住民の意向
  - 住民アンケート調査結果
  - 京丹波町の魅力
  - 今後のまちづくりの主要な取組み 等

## まちづくりの基本的な留意事項

地域の立地特性を  
十分に生かす

京丹波町全体としての  
まとまりや連携の強化

地域基盤の  
ネットワークの強化

協働のまちづくりの推進

## 将来目標像

人のぬくもりとふれあいが奏でる躍動のまち  
丹波高原文化の郷 ● 京丹波

## 主要プロジェクト

- 人がつながり、丹波高原にひろがる元気なまちづくり
- ぐるりと結ぶ「丹波高原文化の郷」周遊ルートの形成
- 「丹波高原文化の郷」の創造・発信

## めざす地域構造

- 京丹波町全域  
丹波高原ゾーン
- 地域拠点の配置  
須知・蒲生地区（中心拠点）  
桧山地区  
本庄地区
- エリアの配置  
丹波高原にぎわい交流エリア  
水と緑のふれあい交流エリア  
丹波高原エントランスエリア

## まちづくりの基本方針

### ～人材～

未来をひらく人を育てます

### ～やすらぎ～

人と人、みんなが支えあう、  
安心・安全なまちをつくります

### ～魅力～

魅力ある産業をはぐくみます

### ～潤い～

豊かで美しい環境を守ります

### ～にぎわい～

人が暮らす、集う、定住・交流の基盤をつくります

### ～地域力～

まちづくりのしくみをつくり、強めます

